事務事業マネジメントシート

(兼)予算編成資料・実施調	計画資料	作成日 H	27	年	3 月	31	日作成
	所属部局	総発部		単位	计番号		301

事務事業名			行政手続團	修備支援事業		所属	課室	絲	務人事課		課長名		石原 身	
7 22 7 514 1					実施計画事業	所属	担当		書法制担当		2当者名		杉山 寿	
基本政策	基 I 情報と連携の都市づくり					予算	科目	会計 名称 款 項 目 細目 01 一般 02 01 02 020						細々目 06
政策	計 01 一 行財政改革の推			 £進		事業区分		□ 国の制度による義務的事業 □ 施設等維持管理事 □ 県の制度による義務的事業 □ 補助金交付事業						
施策	体系)2	行政改革の推進			尹未		□ 市の制度による義務的事業 □ その他の事業 ☑ 義務化されている協議会等の負担金					Ę	
					年度) 年度)	法令								
事事業の内容・・・			東度事業は次年度じ	レ降3年間の計画 の		事業費	貴の主な	内訳	. (26年月	き 決	算見込)			
	見の改正	こにあわ	せて手続き規定の確 図→M 注会との関係	催認・整備を行う 確認→修正指道		項	<mark>目(細質</mark>		金額(千円		項目(細	節)	金額	(千円)
事 ・委託契約→各課関係例規の確認→他法令との関係 業			応→厄伝〒207萬床	小脏的 、			委託料	324						
の														
<mark>概</mark> 要											計 32·			324
	<u>()</u>					<u> </u>					н			021
(1)事務事業の目的		Ē												
① 活動	700			V 1 HT			⑤ 活動	指標	(事務事業の	活動	量を表す指	標)對		
26年度活動内容	法及ひ 準処理	《条例等 !期間な	例規の改正等関係 [・] どの確認依頼	する部署へ改止等	による処分の標		ア 対象	5個性	名称 1(項目)			ļ	単位 供	
の左左ば科マウ	法及び	※ 条例等	例規の改正等関係	する部署へ改正等	による処分の標	⇒	イ	~ V 1/9	L(
② 対象(この事務事			どの確認依頼 こ社会にしているの	かりょしわ白め	*咨消生		ウ の 対象	七垣	(対象の士)	されま	才比無)粉	ァウゖ	⊦== 7. <i>+</i> >!	
ら 小 多 (この事物)	r 木 l ひ i	ᆙ	「いる」としているの	AND TO CHE	《兵脉节		פויז ש	>1日1示	<mark>(対象の大き</mark> 名称	こで衣	プロ1示/数	<u>, 19</u>	Nu.ハレ は 単位	
行政処分等を伴う関係	系条例等	È				⇒	ア市国	₹					人	
						·	イ ウ							
③ 意図(この事務事	業により	ノ対象を	どのような状態にし	ていくのか、どの。	ように変えるのか)		(7) 成集	!指標	(対象における	意図の	達成度を表	す指	標)数字は言	記入しない
							マ港リ	나니	名称 答した市民				単位 ∘⁄-	
市民に対しての処分、	不作為	等の手	続き関係の条項の確	筆認		⇒		1C III	合した川氏	•••••			/0	
	L = + . 6-1	- HI 1 - 4-	+1814147				イ ウ	- 	+匕+声 //+ 田 /	s '± ±	******	* 1 ** 1 **	*L 1 _ = -	7 1 4-1 1
④ 上位目的(どの。	トフな社	果仁和	が付けるのか)				<u>8</u> 上江	L以 朱	<mark>指標(結果(</mark> 名称	り達成	度を表す 指	「標)	数子は記。 単位	人しない
公平・公正な市政の推	進進					⇒	ア満月	と回	答した市民				%	
							/							
						<u>l</u>	1:					<u>:</u>		
(2) 事業費・指標の		単位	24年度 (決算·実績)	25年度 (決算·実績)	26年度 (決算見込·実績)		1 <u>:</u> 7年度 算·目標)		28年度 (計画·目標)		29年度 (計画·目標		最終(トータルコン	年度スト・目標)
年 財	出金	千円												
年 財 温庫支間 事源	出金 I金 債	千円												
年 財 国庫支間 事源 地方 ・ 業 中 で その	出金 出金 債 他	千円 千円 千円 千円	(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込·実績)		算・目標)		(計画・目標)		(計画・目標	!)		
年 事 業 円 の 日本 要 計	出金 出金 債 他 才源	千円 千円 千円 千円						_		_	(計画・目標			
年 事 業 一	出金 計金 債 他 才源 (A) 事人数	千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 315 315 2	(決算·実績) 315 315 2	(決算見込·実績) 324 324 2		第·目標) 32 32	4 2	(計画·目標) 32 32	2	(計画・目標	324		スト・目標) ····································
年 間 トー タルコス	出金 情 他 才源 (A) 事人数 時間	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 315 315 2 60	(決算·実績) 315 315 2 60	(決算見込·実績) 324 324 2 60		第·目標) 32 32	4 2 0	(計画·目標) 32 32 32	2 00	(計画・目標	324 324		スト・目標)
年 事 業 一	出金 出金 債 他 才源 (A) 事人数 時間 (B)	千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 315 315 2	(決算·実績) 315 315 2	(決算見込·実績) 324 324 2		第·目標) 32 32	4 2 0 3	(計画·目標) 32 32	24 2 60 3	(計画・目標	324		スト・目標) ····································
年 間 トータルコスト	出金 出金 債 他 才源 (A) 事人数 時間 (B)	千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	(決算·実績) 315 315 2 60 273	(決算·実績) 315 315 2 60 273	(決算見込·実績) 324 324 2 60 273		第·目標) 32 32 6 27	4 2 0 3 7	(計画·目標) 32 32 32 6 27	2 2 50 3 7	(計画・目標	324		スト・目標) 0 0
年間トータルコスト	出金 出金 債 他 才源 (A) 事人数 時間 (B)	千円 千円 千円 千円 千円 千 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	(決算·実績) 315 315 2 60 273 588	(決算·実績) 315 315 2 60 273 588	(決算見込·実績) 324 324 2 60 273 597		第·目標) 32 32 32 6 27 59	4 2 0 3 7	(計画·目標) 32 32 32 6 27 59	2 2 50 3 7	(計画・目標	324		スト・目標) 0 0
年 事業費 本 事業費 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 大 の の の の の の の の の の の の の	出金 信 他 が (A) 事 時間 (B) ア イ ウ ア	千円 千円 千円 千円 千円 千 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	(決算·実績) 315 315 2 60 273 588	(決算·実績) 315 315 2 60 273 588	(決算見込·実績) 324 324 2 60 273 597		第·目標) 32 32 32 6 27 59	4 2 0 3 7	(計画·目標) 32 32 32 6 27 59	2 50 3 7 5.0	(計画・目標	324		スト・目標) 0 0
年 間 トータルコスト	出金 信 他 が (A) 事 時間 (B) ア イ ウ ア	千円 千円 千円 千円 十一 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 1 1 1 1 1 1	(決算·実績) 315 315 2 60 273 588 117.0	(決算·実績) 315 315 2 60 273 588 1,183.0	(決算見込·実績) 324 324 2 60 273 597 1,183.0		第·目標) 32 32 32 6 27 59 1,183	4 2 0 3 7	(計画·目標) 32 32 6 27 55 1,183	2 50 3 7 5.0	(計画・目標	324		スト・目標) 0 0
年	出金 (情他) (A) (A) (B) アイウアイウア	千円 千円 千円 千円 十一 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 1 1 1 1 1 1	(決算·実績) 315 315 2 60 273 588 117.0	(決算·実績) 315 315 2 60 273 588 1,183.0	(決算見込·実績) 324 324 2 60 273 597 1,183.0		第·目標) 32 32 32 6 27 59 1,183	4 2 0 3 7	(計画·目標) 32 32 6 27 55 1,183	2 50 3 7 5.0	(計画・目標	324		スト・目標) 0 0
年 事業費 本 事業費 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 大 の の の の の の の の の の の の の	出金 (情他) (A) (A) (B) アイウアイウア	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 4 人	(決算·実績) 315 315 2 60 273 588 117.0	(決算·実績) 315 315 2 60 273 588 1,183.0	(決算見込·実績) 324 324 2 60 273 597 1,183.0		第·目標) 32 32 32 6 27 59 1,183	4 2 0 3 7	(計画·目標) 32 32 6 27 55 1,183	2 50 3 7 5.0	(計画・目標	324		スト・目標) 0 0
年間トータルコスト 事業費 小代費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件	出金 (情化) (A) (B) アイウアイウアイウ	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 4 人	(決算·実績) 315 315 2 60 273 588 117.0	(決算·実績) 315 315 2 60 273 588 1,183.0	(決算見込·実績) 324 324 2 60 273 597 1,183.0		第·目標) 32 32 32 6 27 59 1,183	4 2 0 3 7	(計画·目標) 32 32 6 27 55 1,183	2 50 3 7 5.0	(計画・目標	324		スト・目標) 0 0
年間トータルコスト 財源内訳 事業費 人件費 人件費 人件費 大部	出金 (情化) (A) 数 (B) アイウアイウアイ	千円 千円 千円 千円 十一 十一 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二	(決算·美績) 315 315 2 60 273 588 117.0 73,600.0	(決算·実績) 315 315 2 60 273 588 1,183.0	(決算見込·実績) 324 324 2 60 273 597 1,183.0		第·目標) 32 32 32 6 27 59 1,183	4 2 0 3 7	(計画·目標) 32 32 6 27 55 1,183	2 50 3 7 5.0	(計画・目標	324		スト・目標) 0 0
年間トータルコスト 事業費 本書費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件	出金 (情化) (A) 数 (B) アイウアイウアイ タッチ タッチ タッチ タッチ マッチ マッチ マッチ マッチ マッチ マッチ マッチ マッチ マッチ マ	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 十一	(決算·実績) 315 315 2 60 273 588 117.0 73,600.0	(決算・実績) 315 315 2 60 273 588 1,183.0 73,070.0	(決算見込·実績) 324 324 2 60 273 597 1,183.0 72,963.0	(予算	第·目標) 32 32 32 6 27 59 1,183 72,963	4 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(計画·目標) 32 32 27 59 1,183 72,963	24 2 30 3 3 3 7 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	(計画・目標	0 324		スト・目標) 0 0
年間トータルコスト 事業費 本書費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件	出金 (情化) (A) 数 (B) アイウアイウアイ タッチ タッチ タッチ タッチ マッチ マッチ マッチ マッチ マッチ マッチ マッチ マッチ マッチ マ	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 十一	(決算·美績) 315 315 2 60 273 588 117.0 73,600.0	(決算・実績) 315 315 2 60 273 588 1,183.0 73,070.0	(決算見込·実績) 324 324 2 60 273 597 1,183.0 72,963.0	(予算	第·目標) 32 32 32 6 27 59 1,183 72,963	4 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(計画·目標) 32 32 27 59 1,183 72,963	24 2 30 3 3 3 7 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	(計画・目標	0 324		スト・目標) 0 0
年間トータルコスト 事業費	出金 (作	千円円で、一千円円で、一千円円で、一千円円で、一千円円で、一十八円で、一十二十円で、一十二十円で、一十円で、一十円で、一十円で、一十円で、一十円で、一十円で、一十円で、一	(決算・実績) 315 315 2 60 273 588 117.0 73,600.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 寺または5年前と	(決算・実績) 315 315 2 60 273 588 1,183.0 73,070.0	(決算見込·実績) 324 324 2 60 273 597 1,183.0 72,963.0	(予 3	第・目標) 32 32 32 6 27 59 1,183 72,963	4 2 0 0 3 7 7 0	(計画・目標) 32 32 6 27 58 1,183 72,963	24 2 30 3 3 3 7 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	(計画・目標	0 324		スト・目標) 0 0
年間トータルコスト 事業費 事業費 人件費 人件費 人件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件者 大件者 大件者 大件者 大件者 大件子 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田	出金 (本) は (本) は (本) は (本) は (本) は (本) は (本) は (本) は (な)	千円円 千円円 千円円 千円円 千円円 千円円 千円円 件 人 % % % % % % % % % % % % % % % % % %	(決算・実績) 315 315 2 60 273 588 117.0 73,600.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 寺または5年前と	(決算・実績) 315 315 2 60 273 588 1,183.0 73,070.0 等)の変化、市長 当初から、適正なる	(決算見込·実績) 324 324 2 60 273 597 1,183.0 72,963.0 R意見等 行政処分、不利益	(予 3	第・目標) 32 32 32 6 27 59 1,183 72,963	4 2 0 0 3 7 7 0	(計画・目標) 32 32 6 27 58 1,183 72,963	24 2 30 3 3 3 7 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	(計画・目標	0 324		スト・目標) 0 0
年間トータルコスト 事業費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	出金 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	千円円円 千千八 時千千八 時千千八 時千千件 人 別に 対け がった はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいま	(決算・実績) 315 315 2 60 273 588 117.0 73,600.0 73,600.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議	(決算・実績) 315 315 2 60 273 588 1,183.0 73,070.0 等)の変化、市長 当初から、適正なる	(決算見込·実績) 324 324 2 60 273 597 1,183.0 72,963.0 R意見等 行政処分、不利益	(予 3	第・目標) 32 32 32 6 27 59 1,183 72,963	4 2 0 0 3 7 7 0	(計画・目標) 32 32 6 27 58 1,183 72,963	24 2 30 3 3 3 7 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	(計画・目標	0 324		スト・目標) 0 0
年間トータルコスト 国庫支达方の機計である。 事業費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	出金 (他) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	千千千人間 千千件 人 別に はいました 大人な 対対 はいました はいまました はいまた	(決算・実績) 315 315 2 60 273 588 117.0 73,600.0 73,600.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議	(決算・実績) 315 315 2 60 273 588 1,183.0 73,070.0 等)の変化、市長 当初から、適正なな	(決算見込・実績) 324 324 2 60 273 597 1,183.0 72,963.0 R意見等 行政処分、不利益が	(予算	第・目標) 32 32 27 59 1,183 72,963	4 2 0 3 7 .0 .0 .0	(計画・目標) 32 32 6 27 59 1,183 72,963	4 2 10 10 10 10 10 10 10	実施してい	0 324		スト・目標) 0 0
年間トータルコスト 国順	出 (千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	(決算・実績) 315 315 315 2 60 273 588 117.0 73,600.0 73,600.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議 せられているか?	(決算・実績) 315 315 2 60 273 588 1,183.0 73,070.0 等)の変化、市員 当初から、適正なな	(決算見込·実績) 324 324 2 60 273 597 1,183.0 72,963.0 R意見等 行政処分、不利益	(予算 連分を行 かする事	第・目標) 32 32 32 27 59 1,183 72,963	4 2 0 3 7 .0 .0 .0	(計画・目標) 32 32 6 27 58 1,183 72,963	4 2 10 10 10 10 10 10 10	実施してい	0 324		スト・目標) 0 0
年間トータルコスト 国庫支达方の機計では、	出金 (他) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	千千千八間円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	(決算・実績) 315 315 315 2 60 273 588 117.0 73,600.0 73,600.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議 せられているか?	(決算・実績) 315 315 2 60 273 588 1,183.0 73,070.0 等)の変化、市員 当初から、適正なな	(決算見込・実績) 324 324 2 60 273 597 1,183.0 72,963.0 R意見等 行政処分、不利益が	(予算 連分を行 かする事	第・目標) 32 32 32 27 59 1,183 72,963	4 2 0 3 7 .0 .0 .0	(計画・目標) 32 32 6 27 59 1,183 72,963	4 2 10 10 10 10 10 10 10	実施してい	0 324		スト・目標) 0 0

	事務事業名	行政手続整備支援事業	所属部	総務部	所属課	総務人	事課	
2	評価(Check1)担当者による	事後評価 (複数年度事業は途中評価)						
的	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系 の施策に結びつき、貢献しているか? 意図が上位目的に結びついているか? ② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行	□ 見直し余地がある ⇒【理由↓】☑ 妥当である ⇒【理由↓】	であり、上位目的(⇒ 3評価(Ch e	こ結びついている。 eck2)・4今後の方		可性に反映		
妥当性評	わなければならないのか? 民間やNPO、市民協働に移行すること は可能か?	市として適正な行政処分、不利益処分を行わ 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行す			□市民情	名 働		
価	していくことは妥当か?目的や事業の必要性を見直す余地はあるか?	 ✓ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 適切である ⇒【理由↓】 公平・公正な市政を運営するため条例に基づる 	⇒ 3評価(Che	ock2)・4今後の方				
	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事 業の目的に向けて現状よりも成果を向 上させることはできるか?できない場合 は何が原因でできないのか?		】 ⇒ 3評値 】 ``。	西(Check2)·4今行 西(Check2)·4今行				
有効性評価	対 類似した目的を持つ事務事業が他にあ							
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか?また成果から考えて、休止・廃止するとはできるか?	影響なし✓ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】適正な行政処分等を行わなければならないた	! め。 適	休止・廃止ができる 休止・廃止できない 正な行政処分等を行	→【理由↓】 わなければなら	ないため。		
効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減 できないか?(仕様や工法の適正化、 住民の協力など)	 ✓ 削減余地がある ⇒【理由・具体案 □ 削減余地がない ⇒【理由↓】 確認整備に係る委託料のみであり削減余地に 	はない。	評価(Check2)・4				
評価	時間の削減や臨時職員対応や外部委 託による削減はできるか?)	□ 削減余地がある ⇒【理由・具体案 ☑ 削減余地がない ⇒【理由↓】 最低限の人件費であり削減余地はない。		評価(Check2)·4				
平性評	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏ていないか?受益者負担を見直す必要はないか?公平公正か?	□ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案☑ 公平・公正である ⇒【理由↓】受益者負担を求める事業ではない。	↓] ⇒ 3	評価(Check2)・4	今後の方向性	に反映		
	評価(Check2)担当課管理者		- Alle - Lo - C Lo - Lo - Lo - Lo - Lo - Lo				· · · - · · ·	
	1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 □ 適切 ☑ 見直 ② 有効性 □ 適切 ☑ 見直 ③ 効率性 ☑ 適切 □ 見直 ④ 公平性 ☑ 適切 □ 見直	し余地あり し余地あり						
	今後の方向性(事務事業担当認					71		
	廃止(目的妥当性①、②、③の結果) 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	1の結果から定める)・・・複数選択可 □ 事業統合・連携(有効性⑤の結果□ ☑ 成果向上(有効性④の結果) □ 結果) ☑ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)□	現状維持(全評価	性⑨の結果)	前成上	コスト水準 維持 増		
<u>(4)</u>)改革改善を実現する上で解決すべ	き課題とその解決策		(5)1	果 維 水 持			
					果優先度評価線 		(10) (6)	